

深発見 歴史文化 遺産

第拾壱回 薩摩川内偉人大系 其之七 稀代の良匠・阿蘇鉄矢

夢の架け橋「太平橋」

川内川に架かる太平橋は、現代において、交通の要所として毎日多くの人々が往来しています。明治初期までは橋がなく、渡し船で行き来が行われていましたが、溺死者も出るなど、人々は苦しんでいました。

明治7年(1874年)、鹿児島県令の大山綱良は平佐出身の大江・阿蘇鉄矢に川内川への架橋を要請し、翌年、初代「太平橋」が完成しました。なお、現在の橋は、六代目になります。



初代太平橋 (想像画)

阿蘇鉄矢の功績
鉄矢は享和元年(1800

遺産

薩摩川内には長い歴史の中で起きた物語、育まれた文化が数多くあります。このコーナーでは、数ある薩摩川内の歴史・文化の中から、とっておきのトピックスをご紹介します。

今回は、市民の方からのリクエストにお応えして、郷土の偉人「阿蘇鉄矢」についてご紹介します。

1年、平佐で生まれ、幼い頃から手先が器用で大工を志し、30代で薩摩藩の大工頭に抜てきされました。

藩内の主要な神社仏閣の修理工事や甲突川五石橋の架橋、高江新田開発事業など藩内の大きな工事に幅広く携わりました。その功績から江戸の薩摩藩邸や京都御所の修復も任されるなど、まさに国内でも指折りの技術者でした。



阿蘇鉄矢が肥後の石工・岩永三三郎と手掛けた事跡で市内で唯一残存する「江之口橋」(嘉永2年(1849年)架橋 高江町)

太平橋架橋 歓喜と悲哀の碑

大工を引退し、故郷の平佐で余生を過ごしていた鉄



西南戦争時の弾痕が残る「太平橋架橋碑」

■文責・問合せ 社会教育課文化財G(中央公民館内) (22)7251

市民とデザインする10年後の未来

第2回、第3回 薩摩川内市まちづくりデザイン会議

薩摩川内市まちづくりデザイン会議とは...

本市のまちづくりの指針である「第3次薩摩川内市総合計画」の策定に向け、市民自身が長期的視点に立ち、市のあるべき姿を展望しながら、まちづくりについて調査・研究を行うために設置されたものです。(全6回を予定)

第2回、第3回 まちづくりデザイン会議

8月27日(土)、本庁で第2回、9月17日(土)、市国際交流センターで第3回会議を開催しました。

第2回会議では、「薩摩川内市の課題をまとめる」をテーマに4つの分科会に分かれ、委員の皆さんが思う本市の課題を出し合うワークショップを行いました。

若者流出による高齢化の加速や、新幹線・高速道路の利便性を生かした観光振興、地域の強みを生かした企業支援などのさまざまな課題や、高齢者がもつノウハウを生かすこと、成功している自治体と本市との比較分析の必要性について意見が挙がりました。



問合せ/本庁企画政策課 政策G (内線4834)

今後の予定

今後は、ビジョンを実現させるためのアイデアやアクションプランについて具体的な検討を進め、来年1月の提言書提出に向けて、より活発な議論が期待されます。

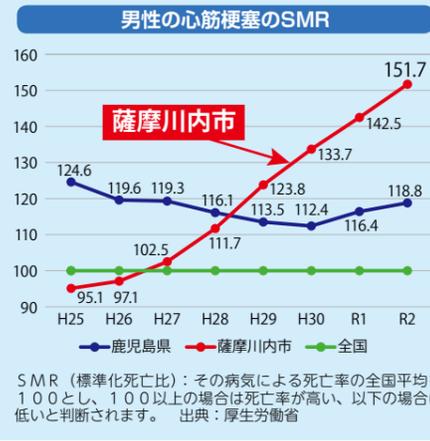
11月14日は世界糖尿病デー

世界糖尿病デーとは

今や世界の成人人口のおよそ9.3%となる4億6,300万人を抱える糖尿病への理解を深めるため、IDF(国際糖尿病連合)とWHO(世界保健機関)が制定し、国際連合によって公式に認定されたものです。

一般的に死に至る病気との認識は薄いですが、年間、実に500万人以上が糖尿病の引き起こす合併症などが原因で死亡しています。

実際に、本市の高血圧や肥満、糖尿病が一因と考えられる心筋梗塞で亡くなる方の割合は全国水準を超えており、特に男性は、年々全国水準よりも高くなっています。高血圧や糖尿病は自覚症状がないので、健診で見つかったりも気にしていない方、治療をしても血圧や血糖のコントロールが不十分な方も多く、本市の健康課題となっています。



「糖尿病と高血圧」の学習会を開催
糖尿病予防について学ぶため、月1回、川内保健センターで開催する学習会に、糖尿病専門医である若松記念病院 帖佐理子氏を招いて、お話を伺いました。その一部をご紹介します。

糖尿病というのはおしっこに糖が出るというよりは、血液の中に糖が溢れている状態です。

食事をして血液中に糖が入るとインスリンが出て、糖は筋肉の力となり、肝臓や脂肪など燃やすべき場所へ移動します。インスリンの出が少なかったり、効きが悪かったりすると、血液に糖が多い状態が続いて、血液が砂糖まみれになり、血管を傷つけてしまいます。

太い血管が傷つくくと、心筋梗塞、脳梗塞、細い血管が傷つくと、腎臓病、網膜症、神経障害が起こります。(合併症)

そのため、糖尿病でない人より、糖尿病の人は6〜7倍心筋梗塞を起こしやすいです。また、糖尿病の人の約半数は血圧が高く、糖も血圧も高いと、さらに起こしやすいくなります。

糖尿病だけでなく、血圧やコレステロールも一緒に良い状態にしておくことが合併症の予防につながります。

「糖尿病はなぜ放置したらいけないの?」



合併症を予防するためには、どのようなことに気を付けたら良いですか?



食事と運動を基本として血糖値を安定させることが最も重要です。中でも、体重や血圧のコントロールはとても大切です。内臓脂肪が多いと、糖も血圧も上がります。

口から入れる物を減らさないとなかなか痩せませんが、意識しないうちに食べていることが多いです。

食べたものが活動で使い切れずに余ると、脂肪になります。例えば、「ご飯を減らした分おかずを食べ過ぎて」「食事量を減らした分、小腹が空いておやつを食べる」といったことが積み重なるともありません。

「夜食べたものが脂肪に、朝食食べたものは力になります。」

朝晩の体重測定をして、前日の食事や活動を振り返ってみましょう。

また、血圧も糖も高い状態だと血管がポロボロになります。血圧は糖よりもお薬によって下げやすいので、血圧が高い人は、合併症予防のために、まず血圧を下げましょう。

毎日の血圧測定や年一回の健診を受けて、血糖や血圧など体の状態を知ることが大切です。

問合せ/市民健康課健康増進第1G(すこやかふれあいプラザ内) (22)8811

帖佐先生からのメッセージ



症状のある人が治療をするのと違って、予防を一生懸命するのは難しいことです。でも、生活習慣病は、予防が一番です。その中でも血圧コントロールは、基本となります。

みんなで健康長寿を目指しましょう。



高血圧、糖尿病など生活習慣病のご相談や学習会の詳細については、市民健康課にお問い合わせください。